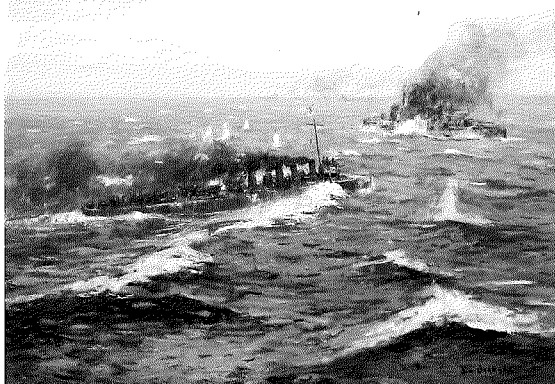


日清戦争威海衛海戦

阪倉宜暢



日露戦争日本海海戦

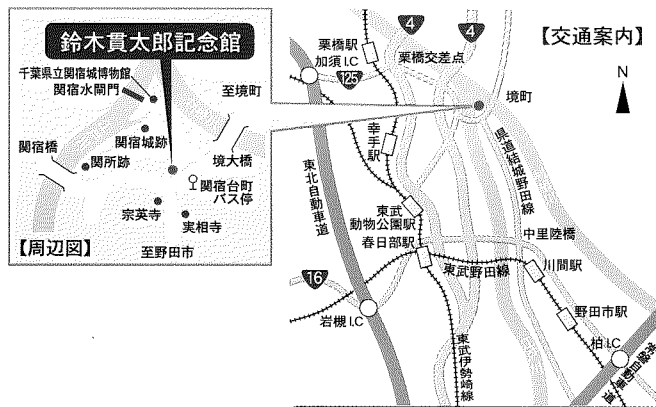
刑部人



大演習御召艦陸奥艦上

松田文雄

- 入館料 無料
- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始
- お問合せ 04-7196-0102
- アクセス 東武野田線(アーバンパークライン)川間駅か東武伊勢崎線(スカイツリーライン)東武動物公園駅から朝日バス(境車庫行)「関宿台町」下車徒歩1分
まめバス関宿城ルート「関宿台町」下車徒歩1分



* 来館の記念にスタンプをどうぞ*

為萬世開太平



野田市鈴木貫太郎記念館
Suzuki Kantaro Museum

表紙写真「関宿時代の鈴木貫太郎」(横田太三郎氏提供)

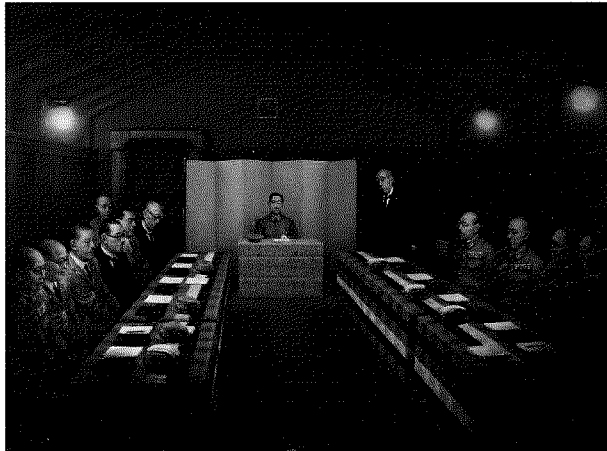
鈴木貫太郎年譜

- 慶応3(1867) 和泉国久世村(現大阪府堺市)に生まれる。父為輔(由哲)、母きよ。
- 明治2(1869) 東京に移る。
- 明治5(1872) 関宿に移る。久世小学校に入学。
- 明治10(1877) 前橋に移る。桃井小学校に転校。
- 明治17(1884) 海軍兵学校(14期)入学。
- 明治20(1887) 海軍兵学校卒業、海軍少尉候補生となる。
- 明治27(1894) 日清戦争おこる(～1895)。旅順・威海衛攻略に水雷艇長として参加。
- 明治30(1897) 海軍大学校入学。大沼とよと結婚。
- 明治34(1901) ドイツ駐在を命じられる(～1903)。
- 明治37(1904) 巡洋艦日進・春日回航に成功。日露戦争おこる(～1905)。
- 明治38(1905) 日本海海戦に第四駆逐隊司令として参加。
- 大正元(1912) 妻とよ死去。
- 大正2(1913) 海軍省人事局長となる。
- 大正3(1914) 海軍次官となる。
- 大正4(1915) 足立たかと結婚。
- 大正6(1917) 父由哲死去。練習艦隊司令官となる。
- 大正7(1918) 海軍兵学校長となる。
- 大正9(1920) 第二艦隊司令長官となる。
- 大正10(1921) 第三艦隊司令長官となる。
- 大正11(1922) 呉鎮守府司令長官となる。
- 大正12(1923) 海軍大将に昇進。
- 大正13(1924) 第一艦隊司令長官兼連合艦隊司令長官となる。
- 大正14(1925) 軍令部長となる。
- 昭和4(1929) 侍従長となり、枢密顧問官を兼ねる。
- 昭和9(1934) 母きよ死去。
- 昭和11(1936) 二・二六事件。侍従長官邸を襲った安藤輝三陸軍大尉率いる部隊に銃撃されるも一命をとりとめる。侍従長を辞す。男爵位を授かる。
- 昭和19(1944) 枢密院議長となる。
- 昭和20(1945) 4月、小磯内閣総辞職により重臣会議が開催され、組閣の大命が降下する。
8月、二度の御前会議によりポツダム宣言受諾が決まる。鈴木内閣総辞職。
12月、枢密院議長に就任。
- 昭和21(1946) 枢密院議長を辞任。
- 昭和23(1948) 関宿の自宅にて逝去。



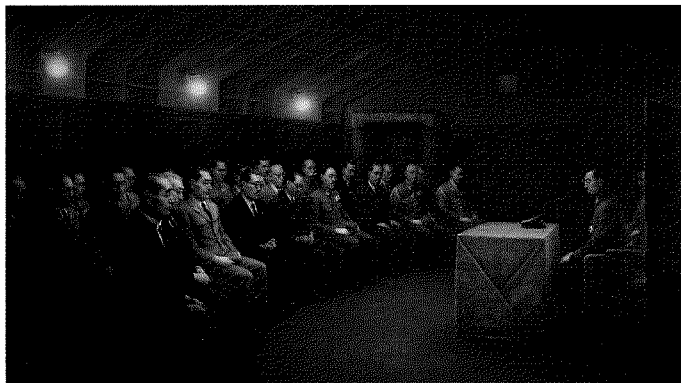
2.26事件鈴木侍従長遭難

阪倉宜暢



8月9日御前会議

白川一郎



最後の御前会議

白川一郎



野田市鈴木貫太郎記念館概要

野田市鈴木貫太郎記念館は、終戦時の内閣総理大臣として日本を終戦に導いた鈴木貫太郎の業績を広く紹介するため、財団法人鈴木貫太郎記念会により、昭和38(1963)年に旧宅の隣に開館しました。その後は関宿町に移管され、現在は野田市教育委員会が管理しています。

館内には、白川一郎画「最後の御前会議」をはじめ、鈴木貫太郎の事績を偲ぶための油彩画や書簡類、愛用の品々などが展示されています。

- 所在地 野田市関宿1273番地
- 建築面積 268.58㎡
- 延床面積 201.75㎡
- 構造 鉄筋コンクリート平屋建

